

日本海ケーブルネットワーク株式会社 (NCN)

2019年度放送番組審議会議事録

■ 日 時：2020年2月20日（木）午後1時半～3時

■ 場 所：日本海新聞本社ビル6階会議室（鳥取市富安2丁目137番地）

■ 出席者

審議委員：河村壮一郎（会長、鳥取短期大学 教授）、佐々木千代子（副会長、いんしゅう鹿野まちづくり協議会理事長）、山根寿彦（鳥取市情報政策課長）、内川啓二（倉吉市企画産業部企画課長）、松野洋平（岩美町総務課主事＝代理出席）、福田京子（地域づくりネットワーク代表）、藤井博美（三朝区長）、白石直紀（鳥取銀行本店経営統括部広報調査役）、松本光義（岩井地区公民館長）＊役職は当日現在、敬称略、順不同

NCN：西尾広海（常務取締役）、河崎誠（取締役次長）、中嶋信行（編成制作部長）、荒木淑朗（編成制作部主任）

■ 報告事項

① 2019年度の取り組みについて

レギュラー番組や特別番組など2019年4月から2020年2月までの番組制作の取り組みを報告した。

② 2020年度の取り組みについて

新年度に向けた取り組み方針を報告した。

■ 協議事項

（委員）

・まったりとしていて地上波より見ていられる半面、番組に刺激がない。一つ一つ番組が短く感じる。早く次に行く感じがあり食リポをして欲しい所でないなど尻切れトンボの印象を受ける。

・新聞などテレビ欄の見やすい位置にNCN番組情報を配置して欲しい

（事務局）

・刺激がないのは良い部分であり悪い部分でもあるので社内でも議論していきたい。

・番組が短く感じる部分については長めに時間がとれるのがケーブルテレビの魅力なので検討したい。

（委員）

・繰り返し放送はメリットとデメリットがあるが他のTV局で取り上げてもらえない中学駅伝など、「じっくり見られて良かった」と保護者の中から声がありケーブルならでは良かった。マイナーなスポーツなども引き続き取り上げてもらえるとそれに関わる人たちの励みになるし周知、拡大にも繋がる。

・詐欺に関する放送も内容を更新しながら対策や注意喚起する番組など定期的にしてもら

えたら犯罪防止につながるのでは。

(事務局)

- ・マイナーなスポーツも取り上げていきたい。
- ・県警と協力したコーナーも作っているので詐欺やネット犯罪などの情報も取り上げて行きたい。

(委員)

- ・eスポーツを取り上げたのは興味深い。若い人は注目するだろうし、今後普及する発展性を感じた。
- ・データ放送などで視聴者の反応を取るような番組ができないか。
- ・「まちネタ」や「ニュース撮って出し」のような土日のイベントなどその日の出来事を放送する番組ができないか。

(事務局)

- ・「まちネタ」や「ニュース撮って出し」の形を土日取るのは現時点では難しい。
- ・減災ライブチャンネル（112ch）で日本海新聞ニュースの速報ニュースを文字情報で流しているのでも現時点ではそこまで。
- ・データ放送に関して弊社のシステム上、現状では難しい。

(委員)

- ・地域に密着した話題を色々拾ってくださって満足しています。以前、気になっていたアナウンサーの抑揚や固い表情なども良くなっている

(事務局)

- ・前回、アナウンサーについては指摘があり心配していたがありが改善できていた良かった。

(委員)

- ・野球が好きで最近人気は下火だが、高校野球中継は継続していただきたい。
- ・鳥取テレピアにはないNCNならではの地域情報の発信をして欲しい。
- ・災害時など地域の一番身近な情報を出していただきたい。
- ・鳥取市役所にあるコミュニティスタジオの積極的な活用を検討して欲しい。

(事務局)

- ・高校野球中継は継続していきたい。
- ・行政情報・防災情報は鳥取市、鳥取テレピアと連携も改めて考えたい。
- ・鳥取市役所にあるコミュニティスタジオの活用も考えたい。

(委員)

- ・中部チャンネルで放送している「くらすけちゃんねる」(倉吉市政情報番組)は好評いただいている。
- ・土・日のイベントなど土曜日に情報発信してもらえると日曜日の足の運びに繋がるので土日の番組は検討していただきたい。
- ・番組モニターなどNCNではどんな取り組みを行っているか。

(事務局)

- ・NCNと倉吉市・三朝町で月1回更新の中部向け共同制作番組を検討している。
- ・昨年、土日イベントを土曜に中継後、当日に再放送するなど可能な限りの対応は行った。可能な限り対応はしていきたい。
- ・番組モニターは行っていないが検討したい。

(委員)

- ・スポーツは興味を引きやすく見ていられる。
- ・お店の紹介など取り扱いの基準は

(事務局)

- ・スポーツには力を入れている。
- ・特別な基準は設けていない。地域で話題になっているものを取り上げている。

(委員)

- ・スポーツが好きで見ている。幅広い競技を取り上げ欲しい。
- ・地元の商品やサービスなど地元の人に知ってもらいたい。企業は学生が帰ってこなくて人材不足。地元でも頑張っている人・モノなど取り上げ鳥取でも活躍できることを発信して欲しい。

(事務局)

- ・競技や会場の条件によって撮影の制限はあるが担当とも相談し取り上げていきたい。
- ・人やモノにスポットをあてることはケーブルテレビがやらなければならない事と考えている。

(委員)

- ・繰り返し放送が少なくなっても一つの番組にボリュームが欲しい。
- ・行政の取り組みを取り上げる番組が必要。

(事務局)

- ・ケーブルテレビは行政の取り組みに踏み込めていない部分がある。新聞社や県内ケーブル局との連携を含め検討したい。

- ・行政や地域の取り組みや流れに踏み込んだ番組については限られた人員で番組制作を行っているのが難しいがご意見を参考に検討していきたい。